



伍十川 英雄さん(76)  
玲子さん(73)  
石越町・第十  
1968(昭和43)年3月入籍

### これからも一緒にレールの旅を

★二人のなれ初めは  
【英雄】仲人さんに紹介されてお見合いしたね。

★玲子 嫁ぎ先が大きい農家で実家からも近かったから、親は安心だったみたい。

★結婚当時の思い出は  
【英雄】3泊4日で熱海と伊豆へ新婚旅行に行ったことがな。

★玲子 嫁いでからは田んぼ仕事に養蚕と毎日忙しかったけど、年に1回の家族旅行は良い思い出。本当にいろんな所に行ったよ。

★お互いの性格は  
【英雄】短気だな。わーわーどカセットテープみだぐ同じ事語られることあるよ(笑)。

★玲子 私とは逆で、のんびり屋だね。

★夫婦円満のコツは  
【玲子】けんかになっても、語りだいは語るとも、引きずらないこと。

★現在の楽しみは  
【玲子】今でも農作業が一段落したら、二人で旅行するのが楽しいね。

【英雄】カーナビで歩くより、レールの旅が良いね。飲んだり食べたりできるし、景色もじっくり楽しめるよ。

★これからのしたいことは  
【英雄】これからも健康で、電車や新幹線でそつちこつち見で歩きたいね。

# One's Home

## ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

### 「ふるさとの思い出」

故郷を離れ、いつしか50年の年月が過ぎ去りました。冬が来るたび、栗駒おろしの北風に向かつて吐く息が真っ白で顔の産毛に霜が付いたこと、向かい風の中、自転車通学の厳しさに泣かされたこと、冷え切った体に、手足には毎年のように霜焼けができたことなどが思い出されます。

上京してから故郷米山山の会員になり、米山町出身の先輩、後輩との交流が続いています。今年で38回目ですが、昨年の1月から新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年3月に開催されていた東京米山会並びに懇親会や5月に予定されていた米山中学校の修学旅行生との交流会などが中止になりました。楽しみにして

いたので、非常に残念です。私が中学生の時の修学旅行では、上野の不忍池で叔父、叔母などの親戚と面会し、お土産を頂きました。女子の誰もが、お土産に「だっこちゃん人形」を欲しがりました。この年は、東京オリンピックも開催されました。米山町中津山から油井潔雄選手がハードルで出場し、スター誕生のような熱気でした。

最近では、地球温暖化による異常気象の影響で各地で川の氾濫や土砂災害が発生しています。私が子どもの頃は、近所のどこの家でも作業場の軒下に舟がつかってありました。追川の改修工事の前は、1年中長靴を履いて生活していたため、「あひるの子」と言われ、からかわれていたそうです。

宮城県北部には善王寺塚、中塚、平塚など、「塚」とつく地名が多数あります。粘り気のない土や石が多く、やせた湿地帯などに「塚」を用いるそうです。地名には理由があり大切です。今では、昔、米山町全域が水害に遭った記憶は薄れ、河川整備、長沼ダムなどのおかげで氾濫の心配もなく、痩せた土地だったにもかかわらず、おいしいお米を食べられることに感謝しています。

### 安藤とも子さん(70)

東京米山会幹事  
米山町(平塚)出身(旧姓 梅本)



# おらほの産直

## 農産物直売所「産直なかだ愛菜館」



年間を通して人気があるもち米。取り扱っているコメは全て北上川の豊富な水と豊かな土壌で育まれた中田町産です。

今月は、農産物直売所「産直なかだ愛菜館」の志田政彦店長にお話を伺いました。

Q おすすめ商品や新商品などを教えてください

この時期は「もういっこ」や「とちおとめ」などのイチゴがおすすです。「もういっこ」は、大粒の果肉と爽やかな甘さが特徴の宮城が生んだブランドイチゴです。「とちおとめ」は、糖度が高めで程よい酸味が特徴です。イチゴを丸ごと使った、いちご大福も入荷予定です。

「赤穂の天塩」は隠れた人気商品。冬はみそ作り、初夏は梅



野菜がおいしく漬かると人気の「赤穂の天塩」(1\*、325円、5\*、1150円)

干し作り、秋は漬物用として1年を通してお問い合わせいただいています。ミネラルが豊富で「おいしく漬かる」とりピーターが多い商品です。

ドライフルーツのリンゴは新商品です。そのまま食べてもおいしいですが、ヨーグルトや紅茶に入れてもおいしいと評判です。リンゴの採れる



ドライフルーツのリンゴはチップスタイルで、うま味と甘味が凝縮されています(302円)

時期限定の商品ですので、早めにお買い求めください。

愛菜館では、新鮮な農産物を出荷できる新規組合員を募集しています。詳しくは、問い合わせください。

【問い合わせ】農産物直売所「産直なかだ愛菜館」  
0220(35)3050

# まちの文芸

## 短歌

作品募集!  
●3月号は俳句川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、1月29日(金)まで応募ください。作品氏名には全てふりがなを振ってください。  
●応募者多数の場合選考して掲載します。

東雲に好むコーヒーコンビニで新聞かた手に今日の情報  
冬枯れの草木に埋もり一本のコスモス揺られて薄赤く咲く  
洋上を染め眩ゆき初日の出五輪の聖火さあ今年こそ  
映像を見「古閑裕而」の名曲を口づさみつつ昔を偲ぶ  
いただきしお守りを腰に持ち歩き  
今日も一日無事に過ぎたり

及川総一郎 (東和)  
千葉 良子 (東和)  
丸山 米子 (東和)  
熊谷夕へ子 (中田)  
千葉 源治 (中田)

初売のスマホ学んで送るライン  
孫が先生幸福な日  
食料ロス飢餓を顧み嘆かわし  
みな平等に幸せ巡れ  
玉葱の赤ちゃん苗に声かける  
寒さにめげず大きくなれと  
伊達公の息吹漂う有備館  
天に向かいて聳ゆる大樹  
慈しみ二年越しの胡蝶蘭  
花咲き揃ひ初春を寿祝ぐ

齋藤フキ子 (石越)  
佐々木儀一 (石越)  
加藤 了子 (南方)  
佐藤 昭子 (南方)  
阿部 洋子 (津山)

応募総数17作品